



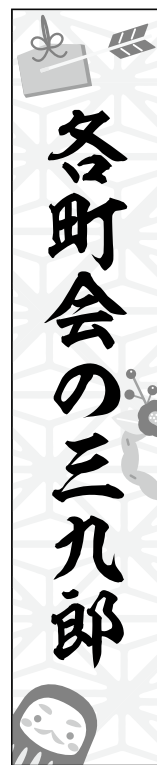
赤木町会 1月12日
青木富義氏の田



百瀬町会 1月11日
田川河川敷



小池町会 1月10日
小池公民館南側田んぼ



世帯数 6,166戸
人口 13,423人
(令和8.3.1現在)



白川町会 1月10日
白川農村公園



寿田町町会 1月17日
田川河川敷



寿田川町会 1月11日
田川河川敷



白姫町会 1月11日
牛伏川新白姫橋下流河川敷



上瀬黒町会 2月14日
米澤神社



下瀬黒町会 1月10日
下瀬黒公民館南側



豊町町会 1月17日
豊町公民館駐車場



竹湊町会 1月11日
上手木戸・西木戸

わがまち 《寿田町町会》

寿田町町会の蕎麦同好会は発足してから今年で10年を迎えたそうです。増田さんが手打ち蕎麦を振る舞ったことがきっかけでスタートし、発足当時の会員は7名ほどだったが、現在は会員10名以上で活動しています。



「蕎麦好きが高じて自己流でスタートした。指導をしながら自分も一緒に上達していった。蕎麦の出来は毎回違う。蕎麦粉、水、天候、気温、その日の気分にも左右される。そこがまたおもしろい。」と、語る。増田さんの打つ蕎麦は町会内外にファンが多い。



この日は2キロほどの量の蕎麦を打った。蕎麦粉は安曇野産をはじめ地元のものを使用。作業は分担し、計量、水回し、こね、延し、切り、と、流れるように進んでいく。丸くひとまとめにした生地がだんだんと薄く延ばされ、丸かったものがいつしか四角くなり、きれいに折り畳まれていく様は圧巻だ。



「蕎麦会の面々も年齢を重ね体力的にも厳しいこともある。」と話すが、あつという間にみごとな生蕎麦が次々と打ちあがっていった。

「蕎麦好きみんなで今日の蕎麦を楽しむ時が一番うれしい。みんなの気持ちが大切。気持ちと一緒に、と、美味しい蕎麦になる。」さらに蕎麦会会長の出版。会長の佐藤さんは料理名人で、蕎麦つゆも出汁から拘って、一から手作りしている。なんと、この日は前日から仕込んだブரி大根も並んだ。大根はこれまた蕎麦会会員の杉浦さんの畑で収穫されたものを使用。蕎麦打ちの達人・増田さんから始まった同好会の輪が広がっています。

【館報編集委員 関尚子】



福祉ひろば出前講座

前半は、地区生活支援員さんから『ミニ健康・福祉講座』がありました。後半は、『陽水風（ようすいふう）さん』のコンサートでした。井上陽水を極めるべく活動開始して10年、レパートリーは100曲近くお持ちだそうです。リクエスト曲にも応じていただき、まるで会場は井上陽水コンサート！心地よい唄声に興奮・感動の時間が流れました。

【館報編集委員 小澤信貴】



1月19日（月）白川町会にて福祉ひろば出前講座が開催されました。

